

柔軟な働き方の実現 を考える ④

コロナの影響で

夏・冬ボーナスカット
定昇は半分の2...

さらに柔軟な働き方でどうなるの!?

「将来は車掌や運転士になりたい。新幹線にも乗務したい。その経験を活かして鉄道員としての使命感を充実させたい」と、厳しい就職試験を突破して念願のJR東日本に入社した方も多と思います。

「変革2027」策定を前後して、2018年の「乗務員勤務制度の改正」、2019年の「新たなジョブローテーションの実施」、更には昨年12月の「社員の多様な働き方の更なる推進」と乗務員の働く環境はめまぐるしく変化をしてきました。

こうした中で今回の「柔軟な働き方」が提案され、職場では現在の仕事や将来への不満が高まっています。また、「転職を考えている」との声も聞こえますが、みんな働きやすい職場にすることが解決策ではないでしょうか！

国労は

**みなさんからの声を集めて
会社と交渉していきます!**



「声」(会社や組合への要望) **は**

国労東日本の
HPからどうぞ

